

校内研修支援研修「言語活動の充実」高嶺中学校にて開催

島尻教育研究所の短期研修に校内研修支援研修があります。

9月7日(月)には「確かな学力の向上を目指す指導の工夫・改善～学び合い、わかる授業の構築を目指して～」と題して、琉球大学 川上一 准教授に「わかる授業」「学び合い」「言語活動の充実」をキーワードとした授業づくりについて、実践事例を示しながらのわかりやすいご講話と、アクティブラーニングや生徒に付けたい21世紀型能力について解説を頂きました。これからの授業実践に活かせる充実した研修でした。

講話の柱

- 1 「生きる力」とは?
- 2 「確かな学力」とは?
- 3 「わかる授業」の構築
- 4 「生きる力」を育む教育活動
- 5 教材研究の視点
- 6 「学び合い」の授業
- 7 課題解決学習
- 8 各教科等の「学び」を充実させるために
- 9 各教科などでの取組
- 10 国立教育政策研究所が整理した「21世紀型能力」もイメージ



写真1 講師の川上一 准教授



写真2 高嶺中の研修の様子

研修の感想 (アンケートから)

- 教材研究の視点、チェックポイントが資料としていただけなのは有り難かったです。
- 課題解決学習が具体的に授業でどのように展開されるのかもわかりました。
- よく耳にする教育用語がたくさんでできましたが、その関係性等がまとめられて、分りやすかったです。資料の穴埋めのワーク形式は意識が高まり、意図を感じる内容でした。
- 言語活動は、「手段」なので、必要に応じて取り入れてもよいということが理解できました。



写真3 講師を囲んで